

令和3年度 入学生用 〔 国 語 科 〕 シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
国語	古典A	2	必修科目	2年	
使用教科書	未定			担当者	

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
学習方法	(1) 指導事項 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察する。		
	(2) 言語活動 古文や漢文の調子などを味わいながら音読、朗読、暗唱をする。		
学習評価	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容	
	1 基礎的学力	文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。	
	2 問題発見・解決能力	問いを立て、解決に向かうことができる。	
	3 情報活用能力	情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。	
	4 主体的判断能力	物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。	
	5 協働力	他者を尊重し、協働することができる。	
	6 自律力	規範意識をもって自律的に行動することができる。	
	7 実践力	自ら考えて行動し実践することができる。	
	8 自己認識力	自分の思考を客観的に捉えることができる。	
		以上の観点をふまえ、 ・授業の取り組み、定期考査、単元及び課題テスト、提出物の状況等を踏まえ、総合的に評価する。 ・観点別評価については、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」の三観点での評価とする。 ・その他の取り組みについては「個人内評価」とし、必要に応じて応じポートフォリオ、ルーブリック評価、パフォーマンス評価など多様な評価を取り入れる。	
担当者から	古典を学ぶということは単に教科書を読んで、文法を学んで、読解を深めることだけではありません。学習を通じて考えを深め、主体的に学ぶ姿勢をどこまでもてるようになるかが重要です。時代の変化の中で、人の生き方、考え方等において、変わるもの、変わらないものを意識するとさらに読みが深くなります。そうした姿勢で学べば、今後の人生にも学んだことが生きていきます。		

[illegible]